

◇2025年保健事業「脳ドック」補助金のご案内◇

脳血管疾患による死亡者数は年間10万人を超え、若年層でも発症することがあります。例えば、芸能界では清原翔さん(27歳)、星野源さん(31歳)、大橋未歩さん(34歳)、桜井和寿さん(32歳)が発症しています。(いずれも発症時の年齢)

「脳ドック」では、MRI(磁気共鳴断層撮影)・MRA(磁気共鳴血管撮影)などの診断装置を用い、症状の出していない小さな脳梗塞や、破裂しそうな動脈瘤、細くなって詰まりそうな脳・頭部の血管などを発見することができます。脳血管疾患は突然発症することが多い病気ですが、「脳ドック」を受けることで、脳の異常や疾患を早期に発見することができます。脳血管疾患によってダメージを受けた脳の細胞が完全に元の状態に戻ることはなく、発症させないことが何よりも大切です。早期発見し初期治療することで、重症にならずに済んだり、病気を未然に防いだりできます。

下記の補助金の概要をご確認の上、是非、前向きに受診を検討していただき、皆様の健康維持や早期発見にお役立てください。

記

1. 補助対象者

被保険者のみ

2. 補助額

一人年間10,000円(超過分は自己負担)

3. 検診機関

①「スマート脳ドック予約サイト」から自身で選定

価格:23,650円(税込)(1,100円の割引適用済)

詳細は<別紙>にてご確認ください。

(注意) ご家族の方も優待価格で受診できますが、「脳ドック」としての補助は行いません。

がん検診補助(8,000円/年)を利用ください。

②任意の医療機関を自身で選定

「スマート脳ドック」を利用せず、近くの病院で受診することも可能です。なお、「スマート脳ドック」は安価で提供されているため、「スマート脳ドック」を利用する場合と比較して自己負担額が高くなる可能性があります。

4. 検査内容

MR I やMR Aを使用します。X線を使わないため、放射線被ばくの心配がありません。

【検査で分かること】

頭部 MRI 検査	頭部 MRA 検査	頸部 MRA 検査
脳出血、脳腫瘍、 脳梗塞など	脳動脈の狭窄、閉塞、 動脈瘤など	頸動脈の狭窄、 動脈解離など

(注1) スマート脳ドックは、上記全ての検査が受診できます。

(注2) スマート脳ドックを利用しない場合は、医療機関ごとに検査内容が異なりますので、
予め内容をご確認のうえお申込みください。

5. 補助対象

頭部の検査が含まれているもの

(注1) 「脳梗塞リスクマーカー」や「頸部検査のみの受診」は対象外です。「疾病予防補助金」
をご利用ください。

(注2) 補助の可否についてご不明な場合は、神栄健康保険組合（村上）までお問い合わせく
ださい。

6. 申請方法

「楽々WorkFlowⅡ」に領収書を添付し申請してください。

7. 検診対象期間

2025年4月～2026年3月31日

8. 申請期間

2025年4月～2026年4月10日

9. 補助金の支給方法

申請内容を審査後、給与支給時に精算いたします。申請から支給まで1～3ヵ月程度かかります。

詳細は、「スマートスキャン脳ドック受診のご案内」をご確認ください。